KOKORO letter ころころレター

広　報

相談電話　052-931-4343　365日受信 24時間
ナビダイヤル　0570−783−556
フリーダイヤル　0120−783−556
毎日 16時～ 21時　毎月 10日 24時間
インターネット相談 いのちの電話連盟ネット相談 検索
http://www.inochinodenwa-ne.jp/
（2021年 3月現在）

座談会
相談員のほんね Vol.1
相談員ってどんな人？

いのちの電話で相談電話を受ける相談員は、どんな人だろう、という声を聞くことがあります。

相談員は、市民が自らの意志で応募してボランティアとして活動しています。応募する条件として年齢の区切りはありますが、学歴や資格、職業などは条件にありません。特別な市民ではなく、いのちの電話を利用する方と同じ市民です。

名古屋いのちの電話には、100 名余の相談員がいます。全ての相談員は、いのちの電話の趣旨に賛同し、研修での電話を受ける基本姿勢を教えられますが、相談員は全員同じ受け答えをするということはありません。それぞれの人生のなかで相談員になり、歩いてきた道も、声のトーンも 100 通りあり、みな違います。

今回の座談会で話をして頂いた 4 名は、100 名を代表するものではありませんが、それぞれ深い思いをもった相談員です。

今回は、そんな相談員に電話を受ける思いを語って頂きました。

Contents

相談員のほんね　1・2・3
電話相談の現場から　4
twitter の紹介　4
編集後記　4

声 電話相談の現場から ⑧
相談員を続ける

「相談員を続けるのに、たいせつなことは何ですか？」

相談員になりたてのころ、継続研修や当番でご一緒した先輩相談員の方々に、お訊きした質問のひとつです。「モチベーションの維持」「当番後、ストレスを解消する」「ひとりで悩まず、誰かに相談する」「家族など周囲の理解と協力」「加齢と老化は仕方ないが、自分と家族の健康管理」「幸運」などなど。そのとき以来、たいせつにしていることが、ふたつあります。

ひとつは「いのち」の活動にマイペースで参画すること。十数年前に一緒に認定された同期の仲間は十五名以上でしたが、現在も登録中は四名。相談員としての適性も高く、やる気もあって一生懸命前向きに活動していた仲間が、定年を待たずに辞められるとき、さみしい気持ちで背中を見送りました。もちろん、辞められる理由があり、その選択を尊重して受け止めてきました。

以前は、当番の穴埋めのため、かなり無理をして担当に入っていた方がいましたが辞められた方が多いです。今も続いている同期仲間は、自分の生活ペースに合わせて当番の頻度・時間帯を決めてきた人たち。自分の生活に無理なく「いのち」の活動を取り入れていったことが、今日までの継続につながったと考えます。

もうひとつは、「自分のために電話を取る」です。電話相談を聞いてきたなかで、何回か、最初の数分で自分のこころのシャッターがガラガラと閉じていくような感覚がありました。そんなときは、すぐに振り返ります。それは、私はこういう部分に過剰反応して聞けないのだと、自分自身を深く認識するチャンスです。知っていれば同じような電話を次に受けたとき、利用者へ冷静に対応することができます。

多くの電話相談の内容は、自分の少ない人生経験をはるかに超え、ときにはこれまでの固定観念を覆したり、広げてくれたりしました。それによって、自分自身をより深く考え、たくさんのことに感謝しながら生活できたと感じています。

これからも、マイペースで、電話を一本ずつ愚直に丁寧に取ることで、利用者の伴走をしながら、相談員を続けていきたいです。

（50代　相談員）

リニューアル（2021年4月より）
名古屋いのちの電話　Twitter アカウント、更新中です！

名古屋いのちの電話では、Twitter を使って広く発信し、若い世代を始め多くの人に相談窓口を知ってもらうことで、自殺予防につなげられたらと、日々つぶやいています。

少ない文字の中で、名古屋いのちの電話のこと、季節の話題、ちょっとしたメンタルケアの話などをつぶやくことで、辛い思いを抱えている方たちに、「ひとりじゃないよ」「話せる場所があるよ」というメッセーシが伝われば ... と強く願っています。

Twitter(ツイッター)とは、
日々のメッセーシを、
140文字以内で投稿し、
それをみんなで共有する
システムの事です。
日本におけるTwitterの
月間アクティブユーザーは、
約 4,500万人で、
各種 SNS の中で、LINE に
次く国内第2位の
ユーザー規模があります。

編集後記

「当たり前の再確認」

コロナ禍で生活環境は厳しくなり、いのちの電話の必要性も高まっているようだ。とはいえ相談電話を受ける環境もまた厳しくなっている。相談電話を受ける現場がクラスターになることがないよう相談員は細心の注意を払い電話を取り続ける。

そんななか、コロナ禍以前のように相談員同士が気軽に会い、意見交換や雑談を行う機会も大幅に減った。

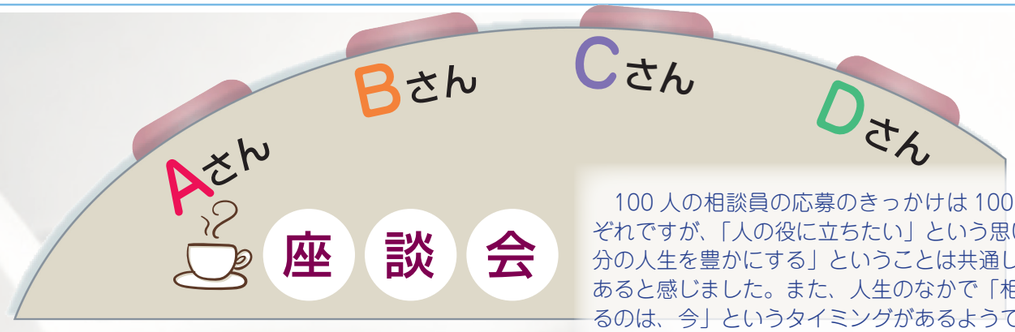
いのちの電話に電話をかけられる方が、自らの思いを言葉にすることで自己確認や心のひっかかりを解くように、相談員もやはり自らの思いを言葉にすることで自己研鑽や重い気持ちの発散を意識もなしにしていた。

コロナ禍は、確かに日常を変えざる得ない災いではあるけれど、以前は「当たり前」で考えもしなかったことをあらためて再確認する機会になっているのではないだろうか？

今回行った座談会も、会報の特集のための企画ではあるが、人が言葉にして話すことの喜びや大切さを再び実感する機会になった。

（広報委員）

社会福祉法人愛知いのちの電話協会　2021 年 8 月
〒 461−8691　名古屋東郵便局　私書箱第 257 号
事務局　☎ 052−508−8381　FAX052−508−8384
http://www.nagoya-inochi.jp/　E-Mail　info@nagoya-inochi.jp
2021 年 8 月 15 日発行
発行人　榊　直樹
編集人　愛知いのちの電話協会広報委員会



100 人の相談員の応募のきっかけは 100 通りそれぞれですが、「人の役に立ちたい」という思いと、「自分の人生を豊かにする」ということは共通して根底にあると感じました。また、人生のなかで「相談員になるのは、今」というタイミングがあるようです。今回話して頂いた 4 名のうち 3 名が仕事を抱えながらの応募でした。仕事と研修の時間が重なるため、応募を 1 年見送ったと話されました。それでも相談員になるという決意は固かった、ということです。

Q. なぜ相談員になろうと思ったのですか？

A さん「私は多分恵まれた人生を送っていると思いますが、それなりに辛いことも経験しています。そんなときに周りの人に助けてもらったように、自分も誰かの役に立てたらいいと思っていました。特技もない自分にできることを考えたとき、人の話を聞くことが嫌いではないことに気付きました。『聞くことならできる』と考え、電話相談に思いが至りました。」

B さん「看護師として働き始めて 2 年目、理想と現実とのギャップを感じ、次のステップに進まなければと思いました。看護学校で学び興味をもった心理学をさらに勉強し、臨床を経験しながら人の役に立ちたいと考え、相談員になろうと思いました。」

C さん「これまでも骨髄バンクに登録するなど、社会のためにやれることはやってきました。定年退職を機に残りの人生をどうやって生きていくか考えていたときに、民生委員仲間からいのちの電話を紹介され、これだと思いました。」

D さん「以前 8 年ほどやっていたボランティアを人間関係が原因で辞めました。スッキリはしたのですが、仕事場と家との往復だけでは物足らなかった。仕事で車を運転していると、ラジオから「テレフォン人生相談」が流れていました。いつしか人の悩みを聞くのもいいかな、と思いはじめ、いのちの電話に応募しました。」

Q　1 年半の研修を経たのち相談員に認定されたわけですが、実際に相談電話を受けていかがでしたか？

C さん「まだ相談員になって 2 年なので、特に聴くことに徹する難しさを感じています。話をしてもらうことで明るくなった声を聞けたり、辛さに共感できたりしたときにやりがいを感じています。」

B さん「電話してよかった、気持ちが落ち着いた、と言われると本当によかったと思います。それと相談員仲間のつながりや温かさを身にしみて感じるので、大変だけど続けていけてます。」

A さん「どんな話でも聴く自信があったし、心を込めて聴けば大丈夫と思っていました。でも、何年かたったとき、その自信はとんでもない思い上がりだったと気付かされました。どんな電話でも純粋に聴ける殊勝な人間ではない自分も見えてきました。嫌な自分や傲慢な自分と時折遭遇してはもがいています。」

D さん「応募のきっかけの一つだった“ラジオ人生相談”と“いのちの電話の相談電話”は真逆でした。ラジオ番組のように助言や指導をするのではなく、ひたすら聴くのがいのちの電話でした。」

相談員になって数年の困難さから、長い経験年数を経ても新たな課題があらわれる深さを感じました。

ここまでも触れられているように、いのちの電話では、一貫して「傾聴」によって相談電話を受けます。

「傾聴」は、共感をもってうなずき、話し手の言葉をリピートしながらひたすら聴くと研修では習い、何度もロールプレイをおこない練習します。

しかし、実際の電話では、それほど簡単なことではない、と気付かされます。

Q 傾聴についてみなさんはどうお考えですか？

C さん「傾聴は、いのちの電話が始まって以来、ずっと続いているやり方なので意味があると思っていますが、研修ではよくわかりませんでした。今は少しずつ“聴くだけでいい”ってことは感じはじめてます。アドバイスなど自分の意見は言わないよう気をつけています」

B さん「難しい質問ですね。実際の相談電話は座学とは一致してないと感じます。実際には、ひたすら聴くだけでなく、対話のように共感の言葉をいうこともあります。話される方の気持ちを肯定したいという思いからです。」

D さん「うなずきや伝え返し（話す方の言葉をリピートする）は何のためにするのか？　話をすることで話し手自身のもつ力で悩みを解決してもらうためだと、経験を重ねた今ならわかるんです。それが傾聴です。傾聴という技法がまずあるのではなく、話し手が自分で気づくように聴く、今はそう考えて電話を受けています。」

A さん「傾聴は（表面的な）技術ではなく、心が伴わないとできない。相手の存在を心から受け入れないとできないと思います。私は子どもの頃から、泣いている子にすぐさま駆け寄って大丈夫？と言える子ではなく、今でも人を包み込むような優しさは持てません。でも以前『相談員は皆、“聴くだけ”だと言う！』と不満を言われた方に対し、1 時間ひたすら聴き続けたら、最後に『話を聴いてもらうというのはこういうことか、今日は本当に良く聴いてもらった』と言われました。そのときは自分も聴くことができたと嬉しく思いました。」

いのちの電話では「自殺予防」という目的のために相談電話をうけています。すべての相談員は、自死をしてほしくないという願いのもとに電話を受けます。

そんななか、ときに悲痛な声で「死にたい」という電話がかかってきます。如何ともし難い現実や、希望の持てない明日を訴える声を聴きつづけます。

Q「自死」についてどう考えていますか？

C さん「電話をかけてくるということは、心の底に死にたくないという思いがあると思う。止めて欲しいという思いがあると考え、とにかく自殺しないでほしいと、伝えています。」

D さん「実際に電話を受けた人が自殺したかもしれない、という経験が 2 度あります。自殺のニュースをみてそうかもしれないと思いました。もやもやしていたけど、どうしようもない。自殺はよくないと思う。心から自殺をしないでほしいと伝えるけど、電話が終わったあとは何も出来ないから、仲間の相談員にもやもやした気持ちを伝えて、自分の気持ちを落ち着かせています」

B さん「“自死がありかなしか”というのは難しい。以前、自死遺族の方から話を聴いたことがありますが、自死に至った本人は最期まで迷い、葛藤し、苦しみがあったのだろうと話されました。自死を否定してしまうと、自死された方の全てを否定するように捉えられる可能性もある。だから容易に“自死はなし”とは答えられないのです。」

A さん「私がたまたま自殺に思いが至るまでの苦しみに会わずにここまで生きてきただけで、自分も耐えられない苦しみにあったら死んでしまうかも知れない、と思っています。電話を受けるときも、死にたくなるほどの苦しさに追い込まれた人の自殺を止めるのは難しいと感じています。話を聴く中で自殺をとどまってくれれば嬉しいのですが、……いつも悩みながらやっています。」

電話を躊躇されている方にメッセージ

深刻な悩みを聴くほどに「自死」について考えさせられます。死にたいと思うのは仕方がないけど、それでも生きていてほしい、という葛藤のなかで受話器をにぎります。厳しい状況を聴くたびに相談員は自分の無力さを感じ、それでも話を聴き続けるのは、話をすることで少しでも「死にたい」から気持ちが離れることを経験しているからです。

最後に電話を前にして、いのちの電話に相談しようかどうか迷われている方にむけてメッセージを話して頂きました。

A さん「少し前に、地下鉄のホームで自死の現場に居合わせました。何が起きたのかがやっと理解できた後、自分は無力だと感じました。亡くなられた方は電話をかけてはくれなかったのだろうか、誰かに最後の言葉を伝えたのだろうかと思いを馳せました。たとえ最後の言葉であってもちゃんと聴くので電話をしてほしかった。」

D さん「自分は人に相談するタイプの人間じゃないんです。自分には勇気がないのかもしれません。電話をかけてくる人は一歩踏み出すことができる人。勇気を感じます。だから敬意をもって聴いています。どうか勇気をもってかけてほしい」

B さん「沢山の相談員が、それぞれの思いをもって受信している。匿名ですが、電話をかけてくれる人と相談をきく人、これは“ご縁”のある人同士でつながっている気がします。必要なときに必要な相談員にちゃんとつながると思う。ご縁は本当にあると思うんです。」

この誌面では紹介できませんでしたが、相談員も決して他者のためだけでなく、自分のために相談電話を受けている、という言葉もありました。

もし、あなたが少しでも元気を出してくれれば、自分も元気になれる。もしあなたと共感することができれば、自分も喜びを感じる。もし少しでもあなたの苦しみが和らぐなら、自分も生きているこの社会が変わるきっかけになっていく。

相談電話による小さな“ご縁”が、社会全体につながる縁になるよう望みながら、日々電話をとっています。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

http://www.nagoya-inochi.jp/

コロナ禍の社会といのちの電話

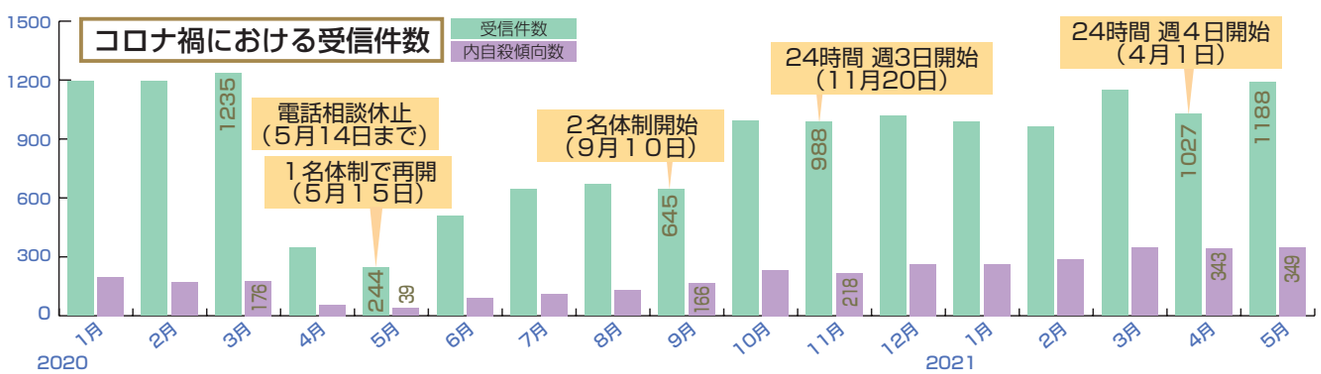
愛知いのちの電話協会 事務局長　加　藤　明　宏

コロナ禍の今、私たちはこれまでと違う新しい「生活」「日常」を生きることが求められています。「名古屋いのちの電話」も、その運営において、大きな変化を求められました。京都大学 iPS 細胞研究所の山中伸弥さんは、ソーシャルディスタンスを「思いやり距離」と訳し、「身体は離れていても相手を思う気持ちは変わらない。思いやりを持って互いに守り合おう」と呼びかけました。「楽しさは人と分かち合うと倍になり、苦しみは誰かと分け合うと半分になる」とは「いのちの電話」の基本を言い表す言葉だと思います。「三密を避ける」「不要・不急の外出を控える」がスローガンとして叫ばれる今、悩みや苦しみをひとりで抱え込まず、誰かに打ち明けることができる「いのちの電話」の匿名性・利便性・即時性が、その真価を発揮できる時だと思います。

2020 年 4 月 11 日から 5 月 14 日まで、苦渋の決断の中で 1985 年の開設後初めて、電話相談活動が休止となりました。しかし 1 回目の緊急事態宣言が解除されると同時に、環境整備・感染対策をして先ず 1 名体制で電話相談を再開しました。その後、2 名体制へ拡大、2020 年 11 月からは 24 時間体制も週 3 日実施できるようになりました。2021 年 4 月からは週 4 日・24 時間になりました。環境整備や感染対策など、目に見えることだけでなく、相談員の気持ちにも寄り添いながら、相談活動が変化できたことは感謝でした。相談員もまた自身の健康や家族、仕事のことなど、悩みも多かったことと思います。しかし、かかり続ける電話を 1 本でも多くとろうという「寄り添い」の気持ちで、自発的に電話ブースに座る相談員の姿がそこにはありました。2021 年 2 月からは、ほぼ途切れることなく相談ブースは埋まり、受信件数もコロナ禍の前の状態に戻りつつあります。

2020 年度継続研修（現役相談員のための）は、回数を減らしながらも外部の会場を借りて行うことができました。電話の 1 回線を移設して、スーパービジョンや養成講座の実習も実施できました。養成講座（新しい相談員の育成のための）は、2020 年 5 月、リモートのみで開講、8 月からは会場とリモートの併用、電話相談実習は全員が相談室を訪れ、2021 年 5 月 8 日、認定式で新しい相談員が誕生しました。

コロナ禍の中で、変わりゆく社会に対して私たち「いのちの電話」のできることは、無限にあると確信しています。



2020 年度　事業報告

1. 相談事業

(1) 電話相談

①電話相談の状況

総受信件数　9,139 件
電話相談員　登録　128 名
実働相談員　109 名

②研修

ア 継続研修　25 回
イ スーパービジョン　73 回
ウ 特別全体研修（愛知県共同募金会配分金にて実施）
2020 年 12 月 5 日（土）
イーブルなごや　ホール
基調講演　東京いのちの電話理事長末松　渉氏
エ 初期研修　7 回

③電話相談員養成講座（27 期・28 期・29 期）
27 期認定　18 名
28 期養成　17 名 認定
29 期養成講座　説明会10 回
延べ　85 名参加

(2) インターネット相談

①相談件数　92 件　（全国では 1,467 件）
②自殺傾向率　45.0%（10 歳代～ 20 歳代　50 件 54.3%）
③インターネット相談員　16 名

2. 広報啓発事業

(1) 機関誌・広報紙の発行
2020 年 4 月・10 月　2021 年 3 月　年 3 回
(2) ホームページの更新
(3) ツイッターの運営
(4)「もしもし、いのちの電話です」 増刷・配布 3,000 部　名古屋北ロータリークラブ支援金によって
(5) オンライン市民講座　開催（一部　会場にて）
2021 年 1 月 30 日（土）14：00 ～ 15：30
「寝たきり社長　佐藤仙務の挑戦」参加者 80 名

3. イベント参加

(1) オンラインイベント
「スマイル！こころの絆創膏デー 2020」
(2) こころの健康フェスタなごや　オンライン特番
(3) イオン　イエローレシートキャンペーン
(4) 自殺予防強化月間　企画展

4. 講師派遣

(1) 名古屋市西生涯学習センター　親学講座
(2) 名古屋ワイズメンズクラブ　卓話
(3) 名古屋キワニスクラブ　卓話

5. 法人本部

(1) 役員の改選
小山　勇理事長　ご逝去　2020 年 6 月 10 日

〈新役員体制〉
理事長　榊　直樹（新）
副理事長　鈴木　郁雄、豊田　彬子
理事　榎本　和、田中　正樹、神尾　隆、藤本　和久
専務理事　加藤　明宏（新）
監事　内河　惠一、野村　純一（新）

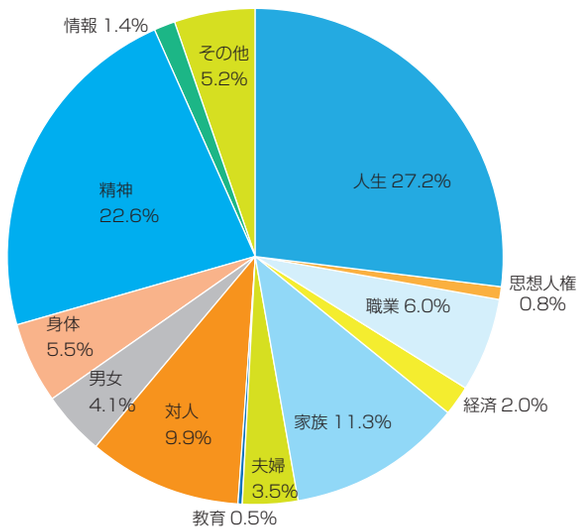
◆ 2020 年度財務報告　（資金収支計算書 経常活動）◆

	項目	2020 度		項目	2020 年度
経常活動収入	補助金	4,478,800	経常活動支出	人件費支出	3,975,968
	会費	6,839,000		事務費支出	6,682,672
	寄付金	4,212,080		事業費支出	5,804,137
	登録更新料	631,000			
	講座受講料	140,000			
	受取利息	805,597			
				小計	16,462,777
				収支差額	643,700
	合計	17,106,477		合計	17,106,477

◆ 2020 年度受信状況◆

	受信件数	内自殺傾向数	自殺傾向率
通常ダイヤル	7,390	1,691	22.9%
フリーダイヤル（毎月 10 日）	259	77	29.7%
毎日フリーダイヤル(毎日 18 時～21 時)	939	279	29.7%
ナビダイヤル	551	160	29.0%
総数	9,139	2,207	24.1%
無言電話	686	—	—
インターネット相談	92	47	51.0%

◆ 2020 年度内容別受信状況◆



広報委員会　今期の活動

広報委員会委員長

今期も広報誌「kokoro レター」を発行します。

コロナ禍による自殺者の増加に伴い、TV・新聞等マスコミに「いのちの電話」がクローズアップされ、多々報道されています。そんなマスコミによる広報とはちがった、相談員編集によるミニコミ誌であることの特色を活かし、より深く、また誠実に発信します。

今期は「相談員ってどんな人？」という、日頃からよく耳にする疑問に応えていきます。

「相談員になるきっかけ」や「相談電話に対する思い」など相談員の人となりを、市民に届けるのみではなく、自殺に追い込まれるほど悩まれている方が、電話の前で躊躇することなく、安心して相談しようと思うことができるよう、また、これから相談員になろうとしている方の指標になるような誌面を目指していきます。

昨今、特に深刻な、生きづらさを感じている若者にも私たちの声が届くよう、広い世代で全国的に浸透している twitter にも力を入れて発信していくことになりました。

多くの人に必要なときに、私たちがいることを思い出してもらえるよう、時代にあわせ可能な限りの手段で発信していきます。

賛助会員コーナー・リレーメッセージ

嘉成頼子さん（森の風こども園　園長）からのリレー

「食べたもので体は出来ていて、心と体は同じもの」

「FUCHITEI」店主　泓（ふち）　昂（たかはる）　溫

食肉加工屋の店主として、毎日「いのち」に向き合っておられます。

どうか健全な食べ物を食べて欲しい、そして幸せな人生を紡いで行って欲しいと願っています。

名古屋市天白区でフランス料理店を 13 年間営んでおりました。

フランス料理の中でもソーセージやテリーヌなどの食肉加工に何より深みを感じ、楽しくて仕方がなくて、2019 年に三重県いなべ市へ移転移住しまして、調理に没頭させて頂いております。

豊かな自然の中で感じるのは、圧倒的なエネルギー量とその循環です。

太陽が照り、雨が降り、水が流れて、草が伸び、動物も虫も大きく元気に活動し、土が肥え、花が咲き、良い香りを振りまきます。

そんな良い香りを嗅いで走り回って育つ野生の動物のいのちや太陽の下で朝から晩まで働く人が育てる野菜のエネルギーを食べることによって取り入れているんだと感じます。

食べる人の喜ぶ姿をひたすら想い、喜んで料理をさせて頂いている自分に気付きます。

取り入れたエネルギーが自分の内側から湧き出ているのだと思います。

私も圧倒的なエネルギーの循環の中に身を置いていられるんだという自覚は、表現し難いのですが、安心して自由に生きる事に繋がっていると思います。

食べたものが血となり肉となっているのは知っていますが、単に物質的なものではないと感じます。

食べるものを目の前にして、是非圧倒的な自然の恵やエネルギーや愛の循環に想いを巡らせてみて下さい。

そしてひとくち 200 回咀嚼してみて下さい。

皆様の奥歯からじわりと喜びが溢れて循環しますように、幸せな時が訪れますように。

ご援助ありがとうございます

2021年2月1日から2021年6月30日までに下記の方々から温かいご支援をいただきました。
一同、深く感謝いたしますと共にご報告を申し上げます。（順不同・敬称略）
なお、上記期間内に何度もご支援くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会　財務委員会

法人賛助会員

愛知株式会社
株式会社沢野商会
株式会社ベストライフ
敷島製パン株式会社
中部国際空港株式会社
豊田通商株式会社
医療法人福智会すずかけクリニック
株式会社ニッショー
株式会社ラングローバル
新明工業株式会社
東朋テクノロジー株式会社
トヨタホーム株式会社
イリヤ化学株式会社
株式会社槌屋
株式会社IEC
大成株式会社
豊田合成株式会社
福玉精穀倉庫株式会社
株式会社オティックス
株式会社フジトランスコーポレーション
黒金化成株式会社
タキヒヨー株式会社
トヨタ自動車株式会社
匿名　1社

賛助会員　A

飯尾　啓子　家城　由香　伊藤　美佐子　榎本　和　大島　恭子　柿本　大真　神尾　隆　國分　順子
坂本　精志　貞利　光昭　塩田　保　下村　徹嗣　高田　研至　高田　美樹　田畑　洋子　豊田　彬子
梨本　將代　浜屋　義幸　水谷　悟　村上　一郎　望月　千年成　八木　武志　山本　秀樹　渡辺　邦俊
渡辺　徹

賛助会員　B

青山　玄　淺井　俊雄　伊藤　芳子　入谷　由紀子　岩田　邦子　神田　輝夫　河野　登喜子　小谷　充子
五藤　裕子　近藤　修司　貞利　光昭　田口　博之　寺西　佐稚代　西村　清美　秦　智宏　松岡　朱美
水谷　真　水野　真　宮内　英夫　村瀬　政子　吉岡　満智子　柳澤　幸輝　和田　芳子

賛助会員　C

青木　恵子　井代　佳明　井上　直美　江口　志のぶ　大久保　義美　小笠原　覚　尾関　めぐみ　片桐　清志
神戸　一子　小久保　裕美　小松　徹　近藤　和子　近藤　直枝　塩野　貞美　杉田　あかり　住　和子
鈴木　淑子　鈴村　美登里　高木　繭子　高橋　孝子　竹内　宏子　寺田　弘子　野村　眞徳　藤田　直美
丸山　佑史　山崎　京子　山田　敦代　山本　幸江　匿名　4名

寄付協力団体

医療法人共和会
宗教法人建中寺
名古屋キリスト教社会館
日本キリスト教団愛知教会女性の会
日本キリスト教団名古屋北教会
光ヶ丘女子高等学校
金城学院高等学校
宗教法人寶泉寺
聖心同窓会東海支部
日本基督教団金城教会社会福祉委員会
日本キリスト教団半田教会
真宗大谷派法光寺
真宗大谷派崇覚寺
飛切り頑固
日本キリスト教団名古屋中央教会
日本福音ルーテル復活教会女性会

寄付・個人

秋田　あや子　浅井　恵子　天野　典子　有水　純子　飯田　吉平　石原　容子　井坂　津矢子　井澤　陽子
伊藤　美佐子　岩川　富子　江口　志のぶ　江崎　好美　榎本　和　太田　真知子　大山　卓　岡田　庸男
小栗　厚紀　小尾　雅彦　加藤　明宏　加藤　綾子　加藤　武　金岡　明美　兼田　智彦　亀谷　みどり
清野　敏子　小島　初江　小松　徹　佐々木　広子　佐野　美奈　島田　節江　下村　明子　下村　徹嗣
白崎　満喜子　鈴木　栄子　住　哲也　高橋　栄一　高橋　紀代子　高橋　雅英　タケウチタカシ　谷川　修
豊田　絢子　西山　えつこ　野澤　奈美江　野田　義行　野村　眞徳　野村　純一　服部　真典　深山　靖
堀江　和史　堀田　直子　本多　恵実　牧岡　恒夫　松本　勝正　宮川　かをり　森田　武彦　山中　輝弓
山本　秀樹　横井　弘子　吉村　恵子　吉田　愛子　柳生　球子　匿名　5名

協力団体（クリスマス募金・歳末募金）

カトリック小牧教会
金城学院大学キリスト教センター
日本キリスト教団南山教会

（1）法人賛助会員（年間1口）A 20万円・B 10万円・C 5万円
（2）個人賛助会員（年間1口）A 10,000円・B 5,000円・C3,000円
（3）一般寄付を随時受け付けております。
（4）夏季及び歳末・クリスマスの特別寄付を随時受け付けております。

口座名　：社会福祉法人愛知いのちの電話協会
銀行口座番号　：三菱ＵＦＪ銀行大津町支店（普）０４７７０２９
郵便振替口座　：００８１０－８－５３７５８

寄付金は、社会福祉法人として税法上優遇措置が受けられます。

毎年、ご寄付を続けていただける賛助会員を募集しています。ご協力をよろしくお願いいたします。
年間の賛助会費や一般寄付を随時受け付けておりますので、振込用紙を同封させていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会　2021年8月

〒461-8691　名古屋東郵便局　私書箱第257号
事務局　☎052-508-8381　FAX052-508-8384
http://www.nagoya-inochi.jp/　E-Mail　info@nagoya-inochi.jp

2021年8月15日発行
発行人　榊　直樹
編集人　愛知いのちの電話協会総務委員会